愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	営業データ論		
担当者(Instructors)	岩本 光一郎	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

日々の営業活動をはじめとするビジネス活動からは、売上明細データ・顧客データ・在庫データなど膨大な量のデータが生まれる。現代のビジネスシーンにおいて、これらのデータは問題の発見や要因分析、対策立案に活用され、事業の改善・拡大に寄与している。本講義では企業経営にとって必要となるいくつかの数値を参考にしながら、とりわけ営業活動に必要となるデータの解説を行っていく。また併せて、データを加工し、必要とする情報の抽出を、Excelを用いた実習として行う予定である。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	PCを活用した実習を中心に行うためノートPCの持参を受講の前提とする。使用ソフトはExcelが中心（但し、Excelの使用法についての講義ではないので、「基礎コンピュータ」程度の知識は受講の前提とする）。毎回出される課題に沿って実習作業を行い、結果ファイルを講義終了時に提出する。 ※初回講義時に、どの程度のコンピュータ知識を必要とするかの解説を行うので、必ず出席すること

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	講義概要の解説と受講上の注意	□
第2回	営業データの特徴と役割	企業の営業活動によって蓄積されるデータについての解説	□
第3回	営業活動の内容	営業データと管理の役割の解説	□
第4回	データ分析とExcel 1： ヒストグラム	Excel実習の準備（数字・数式の入力、グラフの描画など）	□
第5回	データ分析とExcel 2： 基本統計量と偏差値	Excel実習の準備（統計関数、「データ分析」アドインの確認など）	□
第6回	値下げの効果の検証	相関係数について学ぶ	□
第7回	顧客満足度調査からの戦略立案 1：顧客満足度調査の設計	経営方針立案に役立つ顧客満足度調査の設計方法について学ぶ	□
第8回	顧客満足度調査からの戦略立案 2：相関分析の応用	相関係数と散布図を利用して、顧客満足度調査から経営戦略を立案する方法について学ぶ	□
第9回	店舗面積からの売上予測	単回帰分析について学ぶ	□
第10回	売上目標を達成するための広告費算定	重回帰分析について学ぶ	□
第11回	最適な宣伝方法の策定	数量化理論Ⅰ類について学ぶ	□
第12回	アンケート調査と新商品開発 1： アンケート調査の設計	コンジョイント分析を実行するためのアンケート設計とデータ整理について学ぶ	□
第13回	アンケート調査と新商品開発 2： コンジョイント分析と結果解釈	コンジョイント分析の実行方法と、その結果の解釈方針について学ぶ	□
第14回	データのまとめと活用	収集したデータについての解析	□
第15回	総括	講義のまとめと補足	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習としては、参考図書の1の該当箇所を読んでおくことを推奨する（2時間程度）。事後学習としては、講義内に処理した実習課題を、今一度Excelでこなして、正しい結果にたどり着く手順を身に付けられたかどうかを確認することを推奨する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

講義中に課した実習課題については、次回講義の冒頭時にその処理手順を実演・解説する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019地域ビジネスDP2	実際にデータを使った統計分析（重回帰分析、コンジョイント分析）を行ない、その結果を活用して適切な営業方針を自分の提案として発信できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・授業内試験（60%）は最終講で課す持ち帰りレポート試験である。
・その他の中身は毎回の講義内課題（30%）と平常点（10%）である。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし（講義で使用するPPT資料をpdf形式で配布する）	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	内田学・兼子良久『Excel対応 90分でわかる! 日本で一番やさしい「データ分析」超入門』東洋経済新報社	
2		
3		
4		
5		